

# 大学は自分で面白くできる！

大学生活をデザインするはじめての一步

「おもしろいこと」を自分自身で創り出す授業

## 基礎協働演習

H26新設  
教養科目  
「協働教育科目」  
前期

なんのために大学に入った？大学でどんなことしたい？卒業したらどうなりたい？  
サークルやバイトにのめり込むのもいいけれど・・・  
流されるまま何となく大学生活が終わってしまうのはもったいない！

和歌山／和歌山大学には面白い人も資源もたくさん。  
せっかく大学に入ったのだから  
自分からやりたいことをやってみよう！

月5限

### 自主的に「学ぶ」を創造するために

自分の興味・関心を元に、自分が大学生として「やりたいこと」を「プロジェクト」として企画化し、仲間と共に実施します。チームでプロジェクトを実施し、検証・報告をするという一連のプロセスに必要な考え方を学ぶことで、“社会人”としても、また学問を探求する学生としても必要なスキルの基礎も学びます。

例えばこんなプチプロジェクトを企画してみたり・・・

- ・関西の有名建築を巡って調査する
- ・自分の学科を卒業した研究者をインタビュー
- ・フリーマーケットで商売体験
- ・商店街交流つなひき大会企画
- ・児童館のボランティアでイベント企画
- ・キャンパスに花を植える、ごみを拾う

大学（和歌山大学）というフィールドを使って、自分がいかに羽ばたいてゆくの、活躍する諸先輩方の話や自らのチャレンジを踏まえ、考える機会にしてください。これが就職（活動）や卒論にもつながる第一歩になる授業です。

### 得られるもの

- ・「自ら主体的に行動し学ぶ」姿勢
- ・コミュニケーション力の向上
- ・プロジェクトマネジメントの基礎
- ・表現技術（プレゼン・文章作成）の基礎
- ・学部・サークルを越えたつながり



回	内容(予定)
1	授業の概要説明。大学とは何か、高校までとの違いを考える。
2	和歌山大学とは何か。その成り立ちと取り組みを知り、この大学をいかに活用できるかを考える。
3	大学と社会の違い・つながりについて考える。
4	大学で活躍する先輩の例から、自ら主体的に行動し学ぶことを考える。
5	大学に入った理由や、大学でやりたいことを話し合う。
6	自らの将来像に思いを馳せる(ビジョン・メイキング法)。
7	これまでの踏まえて、今すぐできるプロジェクトを主体的に企画する。発想法基礎。
8	プロジェクトを実施するための仲間を集める。
9	実施計画を立てるグループワーク。計画立案基礎。
10	実施(準備)をするためのグループワーク。グループワーク法基礎。
11	実施後の検証・報告をするためのグループワーク。プレゼン法基礎。
12	実施報告プレゼンテーション。
13	実施報告書をまとめる。ライティングスキル基礎。
14	体験を振り返って、自己・他者・プロジェクトについて考える。フィードバック。
15	発展科目や様々な機会を知り、今後の大学生活と具体的なアクションを考える。

【発展科目】

ソフトスキル論 (夏期集中)

基礎協働演習での経験を踏まえて、チームワークに必要なスキルを学ぶ

地域協働演習 (後期)

地域・企業の本物の課題に対して企画立案

自主演習

インターンシップ